

平成29年3月八戸市議会定例会一般質問(教育委員会事務局分)

(2月27日、28日、3月1日 3日間)

○2月28日(火)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
無所属 山名 文世	2 学校教職員について	(1) 勤務時間の把握と超過勤務等について	学校教育課	1
		(2) 部活動等の負担軽減について	学校教育課	2
		(3) 家庭訪問、ゲームセンター等のパトロールの必要性について	教育指導課	3
自由民主・市民クラブ 高橋 一馬	3 教育行政について	部活動について		
		ア 指導者引率について	学校教育課	4
		イ 第2回総合教育会議における話し合いについて	学校教育課	5
無所属 伊藤 圓子	2 八戸三社大祭について	(2) 登録33山・鉾・屋台行事間の交流、連携について	社会教育課	6
	4 本のまち八戸推進について	(1) 八戸市立図書館の蔵書整備等について		
		ア 大活字本の整備等について	図書館	7
		イ 点字訳、DAISY(デイジー)図書等の整備等について	図書館	8
		ウ 宅配サービスについて	図書館	9
	(2) 学校図書館支援事業について	教育指導課	10	
公明党 夏坂 修	4 教育行政について	(1) 次期学習指導要領案について	教育指導課	12
		(2) こども支援センターについて	総合教育センター	13
		(3) 学校給食廃棄物のリサイクルについて	学校教育課	14
きずなクラブ 三浦 博司	3 教育行政について	スクールソーシャルワーカー導入について	教育指導課	15

○3月1日(水)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
公明党 中村 益則	2 教育行政について	(1) 新聞を活用した授業の現状について	教育指導課	16
		(2) 出前授業について		
		ア 外部講師を招いた社会保障教育について	総合教育センター	17
	イ 外部講師を招いたがん教育について	教育指導課	18	
きずなクラブ 寺地 則行	2 観光行政について	(1) 日本遺産認定について	社会教育課	19

資料（提出様式）

質問者(議員名)	山名 文世 議員
発言事項	2 学校教職員について
発言の要旨	(1) 勤務時間の把握と超過勤務等について
質問内容	教職員の勤務時間の把握はどのように行われているか伺いたい。また、超過勤務の対応はどのように行っているか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○平成 21 年に「八戸市立学校職員障害防止対策実施要綱」を策定するとともに勤務時間を校務パソコンに記録できるシステムを採用している。</p> <p>○現在では市内全小・中学校で活用されている。</p> <p>○システムの活用により、教職員の勤務時間に対する自己管理を促すとともに管理職は勤務状況を把握し、具体的な対策を講じている。</p> <p>○学校訪問や校長会を通して勤務状況を把握し、必要に応じて助言を行うとともに健康相談医による健康相談を行うことができるよう体制を整えている。</p> <p>○市教委としては、勤務時間の適正化を図る取組を推進するとともに、教職員の過重労働による健康障害の防止に努めていく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	勤務時間の把握と超過勤務に対する対応は概ね適切に行われているようであるが、今後、更なる改善に向けての取組を進めていただきたい。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	山名 文世 議員
発言事項	2 学校教職員について
発言の要旨	(2) 部活動等の負担軽減について
質問内容	部活動等の負担軽減についてどのような対応がなされているか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○当市の教職員の勤務時間の実態は、市教委が平成 27 年度に実施した調査によると、児童生徒に直接関わる業務の時間は全国平均を下回るものの、間接的に関わる業務の時間は全国平均を上回っているという結果であった。</p> <p>○市教委では、学校事務の負担軽減が喫緊の課題であることから、校務支援システムを導入し平成 28 年 4 月から市内小中学校一斉に本格運用した。</p> <p>○平成 28 年 2 月には、市独自に「教職員の長時間労働の縮減に関する指針」を策定し、「ノー残業デー」の設定を推奨するなど、職場環境の改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>○市校長会等で行われた校務支援システムの運用にかかる調査によると、全教職員の 86%が、事務処理の負担軽減を感じたと回答している。</p> <p>○「ノー残業デー」は、各学校が実情に応じて取り組んでおり、その日を部活動の休日として負担軽減を図るとともに、児童生徒との面談を実施するなど、子どもと向き合う時間の確保につなげている学校が増えてきている。</p> <p>○各学校からは「教職員が退勤時間を意識し、効率的に仕事をするようになった」という声が聞かれ、教職員の勤務時間に対する意識の高まりがみられる。</p> <p>○市教委としては、今年度の実績を踏まえ、引き続き、学校と連携を図りながら、教職員が意欲をもって教育活動に専念できる環境づくりに取り組んでいく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	山名 文世 議員
発言事項	2 学校教職員について
発言の要旨	(3) 家庭訪問、ゲームセンター等のパトロールの必要性について
質問内容	教員による年度当初の家庭訪問や登校指導、放課後や長期休業中の大型店舗・ゲームセンター等の校外指導の必要性について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○当市の児童生徒の安全は、教職員による献身的な活動に支えられていると認識しており、日々感謝している。</p> <p>○年度当初の家庭訪問については、児童生徒の住居の位置や通学路の確認を主な目的としている。</p> <p>○教職員が児童生徒の住居の位置や通学路を把握することは、災害等の緊急時に児童生徒の安否確認や安全確保のために必要であると認識している。</p> <p>○学校によっては、授業時間を短縮したり、住居の位置や通学路の確認のみを行ったりするなどして、教職員の負担軽減を図っている。</p> <p>○登校指導や大型店舗・ゲームセンターの巡視等の校外指導については、交通事故や問題行動の未然防止、子どもの見守り、児童生徒の実情を把握することを目的としており、生徒指導上必要な取組と認識している。</p> <p>○各学校においては、複数の教員による指導体制に加え、地域学校連携協議会を活用するなど、地域住民や保護者と連携した体制を整えている。</p> <p>○また、少年警察ボランティアや少年相談センターの少年指導員等、学校以外の団体や人材の協力を得ての見守り体制も整えている。</p> <p>○今後も、教職員の負担軽減に配慮しつつ、「地域の子どもは地域で育む」という視点で、保護者や地域住民との連携を密にし、多くの大人の目で児童生徒を見守り、子どもたちの健全育成を図りたい。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<p>○教職員の苦勞については承知している。</p> <p>○多忙化解消について改善の余地はあると考えられるので、善処してほしい。</p>

資料（提出様式）

質問者(議員名)	高橋 一馬 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	部活動について ア 指導者引率について
質問内容	引率要件の緩和による市内の状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○全国スケート大会スピードスケート競技における引率要件の緩和を県中学校体育連盟に要望したところ、3年間の試行期間を経て最終決定する旨の回答をいただいた。</p> <p>○試行2年目である今年度は、18名が全国大会に出場し、代理引率・代理監督の特例で出場した選手は1名であった。</p> <p>○当市から出場した選手が、本大会で大いに活躍しており、その中でも特例で出場した選手が入賞を果たした。</p> <p>○試行期間ではあるが、引率要件の緩和によって、全国大会の道が開かれたことは、本人の励みとなり、当市のスピードスケート競技の発展につながっている。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者（議員名）	高橋 一馬 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	部活動について イ 第2回総合教育会議における話し合いについて
質問内容	第2回総合教育会議において、小・中学校の部活動についてどのような話し合いが行われたのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容（概要）	<p>○2月13日の総合教育会議において、「小・中学校の運動部活動のあり方について」というテーマのもと、意見交換を行った。</p> <p>○市内各小・中学校における現状と課題、他都市の参考事例等について、市長と教育委員が情報を共有し、今後の方向性を検討した。</p> <p>○当市の小学校期におけるスポーツ活動の課題として、本来活動の主体となるスポーツクラブが十分に整備されていないこと、外部指導者の確保が難しいこと等が挙げられた。</p> <p>○中学校における部活動では、教職員の減少による指導者の確保が難しいこと、生徒・保護者からの要望に十分に応えられないこと等が挙げられた。</p> <p>○当市の運動部活動の現状と課題を共有し、今後の運営体制のあり方や外部指導者の確保、各競技連盟との連携のあり方等について議論を深めた。</p> <p>○外部指導者に対する保健等の補償については、早急に検討する必要があると共通認識した。</p> <p>○市教委としては、市長部局や各競技連盟、校長会等と連携を図りながら、当市の実態に即したスポーツ環境のあり方を研究していきたい。</p>
担当課	学校教育課

再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容（概要）	市内中学校における運動部活動の今後のあり方について教育長の見解を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容（概要）	<p>○近年の少子化に伴い、教職員も減少傾向にあり、生徒のニーズに応じた部活動の数を維持し、指導の充実を図っていくことは厳しい状況にある。</p> <p>○市内では、学校、市中学校体育連盟、教育委員会、競技連盟のそれぞれの立場から運動部活動の環境づくりを推進する取組が行われている。</p> <p>○中学校では、地域密着型教育を活用し、部活動を推進していく体制づくりに取り組んでいる。</p> <p>○市中学校体育連盟では、複数校での合同チームを認めている。</p> <p>○市教委では、部活動における学区外通学を許可している。</p> <p>○県スピードスケート連盟では、市内のスピードスケート部を対象に合同練習をしている。</p> <p>○今後は、学校、保護者、地域、競技連盟、行政がさらに連携を深め、協同による支援体制づくりを推進していくことが重要であると考えます。</p> <p>○市教委では、総合教育会議の話し合いをもとに、外部指導者の確保と活用に向けた支援策について、研究を重ねていきたい。</p>

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容（概要）	<p>○各競技連盟等が生徒を指導、引率できるような体制づくりについて検討してほしい。</p> <p>○学区外通学による部活動の継続ではなく、生徒が希望する部活動を新設できるよう、校長会と連携を図り、環境づくりに努めてほしい。</p>

資料（提出様式）

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	2 八戸三社大祭について
発言の要旨	(2) 登録 33 山・鉾・屋台行事間の交流、連携について
質問内容	ユネスコ無形文化遺産に登録された山・鉾・屋台行事間の交流、連携を促し、互いの理解や課題解決を図っていくため、東北地方や風流山車といった枠組みも視野に入れたネットワークの構築について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ユネスコに登録された全行事の保存団体は、「全国山・鉾・屋台保存連合会」に加入しており、以前から、祭りの担い手、修理技術者、行政担当者が、保存継承と技術向上を目的に、情報共有や研修会を行っている。</p> <p>○また、今回の登録を契機として、岐阜県大垣市が中心となり、山・鉾・屋台行事の魅力を観光へ活用するとともに、広くPRすることを目的として「山・鉾・屋台行事観光推進ネットワーク」という新たな組織を平成 29 年中に設立する予定となっており、八戸市も加入することとしている。</p> <p>○33 件のうち、東北地方では、八戸三社大祭、角館祭りのやま行事、土崎神明社祭の曳山行事、花輪祭の屋台行事、新庄まつりの山車行事の 5 件が登録されている。また、祭りのたびに作り変える風流山車を出す行事では、八戸三社大祭、角館祭り、土崎神明社祭、新庄まつり、福岡県の博多祇園山笠行事と大分県の日田祇園の曳山行事の 6 件がある。</p> <p>○東北地方や風流山車の枠組みにおける交流、連携、共同でのPR活動等については、どのような方法で実施可能か今後研究していく。</p>
担当課	社会教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	4 本のまち八戸推進について
発言の要旨	(1) 八戸市立図書館の蔵書整備等について ア 大活字本の整備等について
質問内容	大活字本の整備状況、利用状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○大活字本とは、低視力者や高齢者の方でも読みやすいように、文字や行間を大きく印刷した本で、字体もはっきりと見やすいゴシック体で書かれている。</p> <p>○人気のある時代小説や推理小説、エッセイ等を中心に年間 60 冊程度を購入している。</p> <p>○大活字本を安価に購入できるように、平成 25 年度より大活字文化普及協会への会員登録を行っている。</p> <p>○現在、本館に約 1,850 冊、南郷図書館に約 250 冊の所蔵があり、2 館とも大活字本をまとめたコーナーを設置している。</p> <p>○ここ数年、利用が増えていると聞いている。</p> <p>○今後は、大活字本の所蔵を利用者に周知しながら、利用状況、要望を踏まえ、購入冊数を増やし、更に充実させていく。</p>
担当課	図書館

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	さらなる充実を図っていただきたい。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	4 本のまち八戸推進について
発言の要旨	(1) 八戸市立図書館の蔵書整備等について イ 点字訳、DAISY (デイジー) 図書等の整備等について
質問内容	点字訳、DAISY (デイジー) 図書等の整備状況、利用状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市図書館では、点字への翻訳は行っていないが、出版されている点字本を購入しており、現在、児童書を18冊、一般書を12冊所蔵している。</p> <p>○利用者は、学校で点字を学習している小学生が多い。</p> <p>○デイジー図書とは、録音方式が普通の音楽CDとは異なり、1枚のCDに約60時間の録音ができる。目次から読みたい任意のページに飛ぶことができるなど、便利な機能がある。</p> <p>○市図書館ではデイジー図書の所蔵はないが、それに代わる物として、ここ数年、朗読CDを積極的に購入している。</p> <p>○今後も、ジャンルを増やすなど、朗読CDの充実に努める。</p> <p>○デイジー図書については、青森県視覚障害者情報センターの利用を紹介するとともに、他都市の事例を参考にしながら研究していく。</p>
担当課	図書館

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	さらなる充実を図っていただきたい。

資料（提出様式）

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	4 本のまち八戸推進について
発言の要旨	(1) 八戸市立図書館の蔵書整備等について ウ 宅配サービスについて
質問内容	本の宅配サービスの現状について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○個人への宅配サービスは行っていないが、特別養護老人ホーム等を含め市内50箇所では移動図書館車による巡回貸し出しを行っている。</p> <p>○また、高齢者や障がい者の入所施設等へ、150冊までを約3箇月間、まとめて貸出する施設配本を行っている。</p> <p>○この他、50冊までを自由に選書してもらい、30日間貸出する団体貸出の制度があり、病院や介護老人保健施設による利用の実績がある。</p> <p>○高齢者や施設入所者など個人への宅配サービスについては、他都市の事例を参考にしながら、研究して参りたい。</p>
担当課	図書館

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	4 本のまち八戸推進について
発言の要旨	(2)学校図書館支援事業について
質問内容	学校図書館支援事業の予算が拡充されるとのことだが、当事業の今年度の成果と、拡充の具体的な内容について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○「学校図書館支援事業」は、3名の学校司書を10の小・中学校に派遣することによって、学校図書館の、「読書センター」「学習・情報センター」としての機能の向上と充実を図ることを目指して実施している。</p> <p>○当事業は、複数の学校司書を計画的に派遣する、青森県内初の取組である。</p> <p>○事業開始である今年度の成果は、次の3点である。</p> <p>○1点目としては、学校司書が派遣された学校において、「図書の貸出冊数が増えた」「環境整備が進み、温かみのある学校図書館になってきた」「学校図書館ボランティアの活躍の幅が広がった」ということが挙げられる。</p> <p>○2点目としては、市図書館と連携して実施した学校図書館ボランティア講習会や、八戸ブックセンターにおける読書会の実施により、その活動の重要性が認識され、学校図書館に対する関心が高まったことが挙げられる。</p> <p>○3点目としては、市図書館の協力を仰ぎながら、月1回の割合で学校司書の研修を実施して資質の向上と情報収集に努め、派遣校の様々な要望に応えることができたということが挙げられる。</p> <p>○これらの成果を踏まえ、来年度は当事業を拡充する計画を進めている。</p> <p>○具体的な内容は、学校司書の人数は現状のままとし、それぞれの活動時間と派遣する学校を増やすというものである。</p> <p>○理由は、今年度、原則4時間という活動時間では対応しきれなかったことと、派遣校での成果を耳にした学校から「月1回程度で構わないので、学校司書を派遣してほしい」という声が多く寄せられたためである。</p> <p>○市教委としては、今後も成果と課題を検証しながら、学校図書館の機能の向上と充実に向けて、当事業を推進していきたい。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	学校司書の派遣が有効ということは分かったが、近い将来、全ての学校に学校司書を派遣する考えはあるか、教育長の見解を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○学校司書の存在が注目を浴び、派遣の成果が上がっていることは非常に喜ばしいことである。</p> <p>○今後は、派遣校における実績を重ねていくとともに、全小・中学校間でその成果を共有することが、学校図書館の活性化を図る上でも必要であるとする。</p> <p>○事業開始から1年ということもあるので、現段階では、現在の体制を維持しながら学校司書の効果的な活用について、成果と課題を丁寧に検証するとともに、学校の要望に応えられる事業の在り方を研究して参りたいと考えている。</p> <p>○全ての学校に学校司書を派遣することについては、その後の課題ととらえている。</p>

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	4 教育行政について
発言の要旨	(1) 次期学習指導要領について
質問内容	次期学習指導要領実施に向けた指導体制等の整備及び課題について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○現在、文部科学省から学習指導要領案が示され、パブリックコメントを行っている。</p> <p>○改訂のポイントの中には、外国語教育の充実、主体的・対話的で深い学び、プログラミング教育の3点も挙げられており、授業改善に向けた指導体制の整備等が重要であると考えている。</p> <p>○1点目として、外国語教育の充実については、小学校中学年では外国語活動が、高学年では教科として外国語科が実施され、授業時数が年間35時間増になる。</p> <p>○ALT18人を含めた指導体制を生かし、小学校中学年の外国語活動や高学年及び中学校の外国語科にも対応していきたい。</p> <p>○教員を対象として外国語活動及び中学校英語の研修講座を今年度に引き続き来年度も実施することで教員の指導力を高めていきたい。</p> <p>○課題としては、ALTを含めた指導体制の充実と小学校3学年以上で増えた授業時間の確保が挙げられる。</p> <p>○2点目として、主体的・対話的で深い学びについては、各校の校内研修の成果を生かし、研修講座等の教員研修をさらに充実させるとともに、授業改善に向けた取組を活性化していきたい。</p> <p>○課題として、教員の事務量の増加によって、授業準備のための十分な時間を確保できないことが挙げられる。</p> <p>○今後とも校務支援システムの有効活用を進め、業務の効率化を図り、教員の授業準備の時間確保に努めていきたい。</p> <p>○3点目として、プログラミング教育については、文部科学省から「小学校段階のプログラミング教育の在り方」として、論議のまとめが示されている。</p> <p>○その中では、プログラミング教育の考え方や各教科と関連のもと、コンピュータでの体験等を通して論理的思考力や創造性、問題解決能力等を育成することについてまとめられている。</p> <p>○現在、タブレット等の環境を整えながら、情報活用能力等の育成を図っている。</p> <p>○今後、プログラミング教育にかかわる具体的な取組や指導内容について、教員の理解を深めることが課題と考えている。</p> <p>○これから示される学習指導要領について情報収集と研究を進めながら、全面実施に向けて準備を進めていきたい。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
--------	--

質問者（議員名）	夏坂 修 議員
発言事項	4 教育行政について
発言の要旨	(2) こども支援センターについて
質問内容	こども支援センターの相談件数の推移と具体的な支援内容、及び、成果と課題、また、(仮称)八戸市総合保健センター移転に伴う支援体制拡充のメリットについて伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容（概要）	<p>○こども支援センター開設後、相談件数は増加し、今年度は1月末現在で相談件数が延べ2,828件、開設前の平成26年度同時期の約1.8倍となっている。</p> <p>○相談の主な内容は、「不登校・集団不適應に関する内容」が915件と最も多く、次いで「発達の遅れ・障がいに関する内容」が、663件となっている。</p> <p>○「教育相談部」「専門指導部」「適応指導部」の3部門で対応している。</p> <p>○「教育相談部」は、子育て全般や子どもの集団不適應、不登校などの悩みに関して、「専門指導部」は、子どもの発達・発育に関する悩みについて、「適応指導部」は、集団不適應や不登校状態にある児童生徒の学校復帰に向けて、それぞれ、相談対応や支援をしている。</p> <p>○開設の成果は、広く市民に相談場所として認知され、悩みを抱えていた多くの相談者が訪れるようになったこと、また、センター内3部門で連携しながら丁寧に対応することで、悩みや不安の解消につながっていることである。</p> <p>○課題は「原因の多様化・複雑化」や「障がい特性の重複化」等によって、より専門的な対応が求められ、適切な支援が難しいケースが増えていることである。</p> <p>○現在も早期支援や適切な対応のために、健康づくり推進課や障がい福祉課等の関係機関と連携を図り、取り組んでいる。</p> <p>○平成32年に開設予定の(仮称)八戸市総合保健センター内に移転後は、子ども一人一人の教育的ニーズについて情報共有が可能となり、早期から、教育・保健・福祉・医療等と連携した、より総合的・継続的な対応が可能になると考える。</p> <p>○市教委では、こども支援センターが子どもたちの健やかな成長の一助となるよう、今後も市長部局や関係機関等と緊密な連携を図りながら、支援体制の一層の充実に努める。</p>
担当課	こども支援センター

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容（概要）	(仮称)八戸市総合保健センター移転を契機に、市民に親しみやすいこども支援センターの愛称についてのお考えを伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容（概要）	<p>○こども支援センターが開設して2年経過し、幼児期から学齢期までの相談機関として、広く市民に認識されてきていることが、相談件数の増加からも伺える。</p> <p>○今後、こども支援センターは、(仮称)八戸市総合保健センター内に移転されることが決まっている。</p> <p>○そこで、新たな場所に設置されるということや、センターの担う役割、当市の子どもたちへの願いに鑑み、今後、愛称についても、検討していく。</p>

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容（概要）	

資料（提出様式）

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	4 教育行政について
発言の要旨	(3) 学校給食廃棄物のリサイクルについて
質問内容	学校給食廃棄物の堆肥化事業の実績と今後の展開について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○当市では、平成 25 年 3 月に策定した「第 2 次環境基本計画」の中で、「人と自然が共生する持続可能な都市」を掲げ、資源の再生利用等を促進しているところである。</p> <p>○市教委としても、目指すべき環境像を踏まえ、これまで焼却処分している給食残渣等の堆肥化について進めている。</p> <p>○今年度は、新給食センター稼動に合わせ、全市的にリサイクル事業を実施するため、モデル事業として、東地区給食センターで生ごみリサイクルを実施した。</p> <p>○ごみの実績値の把握（H29. 1 月現在で約 50 トン）、配送方法を確立させた他、環境教育面では、リサイクル工場の社会科見学を実施し、八戸小学校、南郷小学校、島守小学校が実際の堆肥化の行程を学んだ。</p> <p>○平成 29 年度は、実績をふまえ、全センターでの生ごみリサイクルを予定している。</p> <p>○今後もリサイクル業者の協力のもと、食育及び環境教育を進める。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	堆肥化したものを環境教育にどう生かしていく予定か。新しい給食センターやリサイクル工場を有効活用すべきと考えるが、今後どのように進めていくかをうかがいたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○リサイクル工場の見学や業者協力のもと堆肥の活用について学習する機会を設けるとともに、新給食センターの食育コーナーでは、リサイクルについて学べるように準備を進めているところである。

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	三浦 博司 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	スクールソーシャルワーカー導入について
質問内容	当市が取り組むスクールソーシャルワーカー事業の計画について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○市教委では、来年度から5名のスクールソーシャルワーカーによる相談体制を充実させていく。</p> <p>○中学校に配置されたスクールソーシャルワーカーは、困難を抱えた生徒との相談を通して、個に応じた支援をするとともに、学校や家庭、関係機関との連携を図りながら問題の解決策を講じていく。</p> <p>○配置校以外の小・中学校については、学校の派遣要請に応じてスクールソーシャルワーカーが学校を訪問し、配慮が必要な児童生徒がいる場合には定期的に訪問するなどして、不登校等の早期発見、早期解決を図っていく。</p> <p>○また、市で行われる要保護児童対策実務者会議等にスクールソーシャルワーカーが出席し、情報の共有を図りながら児童生徒への支援を進めていく。</p> <p>○スクールソーシャルワーカーを活用することにより、学校と関係機関との連携が促進され、児童生徒の立ち直りに向けた支援につながるものと考えている。</p> <p>○現在、市教委では、来年度からのスクールソーシャルワーカー事業について周知するリーフレットを作成し、市内小・中学校の全児童生徒の保護者に配付し、周知を図る予定である。</p> <p>○不登校等の課題は、子どもへの支援だけでは対応が困難なケースが多く、学校や家庭と関係機関を繋ぐスクールソーシャルワーカーは、その専門的な指導により、児童生徒、保護者及び教師にとって大きな支えになると期待している。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	三八教育事務所に配置されているスクールソーシャルワーカーとの連携はどのように図っていくのか。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○現在、県教委が三八教育事務所に配置している3名のスクールソーシャルワーカーは、三八管内の小・中学校を対象に相談活動を行っており、今年度は八戸市においても8校の相談に対応していただいた。</p> <p>○教育指導課青少年グループの学校訪問に同行する他、ケース会議にも参加するなどして、児童生徒の課題解決のための助言をいただいた。</p> <p>○来年度の当市のスクールソーシャルワーカーについては、これまでどおり三八教育事務所に配置されているスクールソーシャルワーカーとの連携を密にし、情報交換を積極的に行いながら実効性のある相談体制の構築に努めていく。</p>

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<p>○研修会への参加や関係機関との情報交換等により、スクールソーシャルワーカーのスキルアップを図ってほしい。</p> <p>○当市のスクールソーシャルワーカーの人員拡充や報酬増額等について関係課と協議し、実効性の高い相談体制を整備してほしい。</p>

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(1) 新聞を活用した授業の現状について
質問内容	来年度、各小・中学校に新聞が配備される予定だが、現在、学校では新聞がどのように活用されているか、状況を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○現在、各学校においては様々な場面において新聞が活用されている。</p> <p>○国語科においては、小学4年生に「新聞を作ろう」、中学3年生に「新聞の社説を比較して読もう」という単元が設定されている。</p> <p>○それ以外にも、「書くこと」の単元を中心に、事実と意見の書き分け方や5W1Hを意識した簡潔な文体など、新聞記事を参考とした学習活動が複数見られる。</p> <p>○その他の授業での活用としては、理科の授業でノーベル賞の記事、家庭科の授業で子育てに関わる記事、道徳の授業で思いやりに関わる記事など、各教員が工夫して新聞を授業に取り入れていることが挙げられる。</p> <p>○また、授業以外の活用としては、日直活動の一環として、その日のニュースとそれについての感想を発表する活動を設定したり、学年単位でコラムを書き写す学習活動を行ったりしている例も多く見られる。</p> <p>○しかし、これらの取組が学校間で十分に共有されているとはいえないことから、今後は各学校の活用事例を共有できる場を工夫していきたいと考えている。</p> <p>○さらに、来年度から実施する予定の「ひらく・楽しむ新聞力活用事業」については、先進校における様々な事例を事前に紹介し、各学校の実情に合わせた活用を促していきたいと考えている。</p> <p>○市教委としては、当事業を通じて活字に親しむ環境を整え、より幅広い視野で物事をとらえる児童生徒を育むことができるよう、実施に向けた体制整備に努めていきたい。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
--------	--

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<p>OECD学力到達度調査によれば、新聞を読む子どもは学力が高いという結果が出ている。</p> <p>読解力向上の点からも、また「本のまち」の基盤としても新聞を読むことは有効なので、ぜひ、この事業を有効に活用してほしい。</p>

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(2) 出前授業について ア 外部講師を招いた社会保障教育について
質問内容	外部講師を招いた社会保障教育について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○社会保障制度について、当事者意識を高めながら、その意義を理解させる社会保障教育は、地方自治や国の政治の仕組みを主体的に学ばせる上で大切であると認識している。</p> <p>○小学校6学年では、「地方公共団体や国の政治の働き」の学習において、「社会保障」「災害復旧の取組」「地域の開発」の中から一つを選択して学習することとなっている。当市のほとんどの小学校が、東日本大震災の教訓から当事者意識をもたせ、市教委発行の「防災ノート」も活用できる「災害復旧の取組」について学習している。</p> <p>○中学校3学年では、公民的分野「社会保障の充実」の学習において、「社会保障制度の基本的な内容を理解させ、その一層の充実を図っていく必要があることを理解させる。」としている学習指導要領の趣旨を踏まえ、教科書を活用しながら2時間程度学習している。</p> <p>○総合的な学習の時間等を活用して、福祉施設への訪問や体験活動を行う学校がある中、社会保障制度に関して外部講師を招いた学習が行われていない現状も見られる。</p> <p>○市教委としては、社会保険労務士や身近な介護士などの外部講師の活用も視野に入れながら、児童生徒が公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力の育成が図られるよう、各校に指導助言していく。</p>
担当課	総合教育センター

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	外部講師を活用した出前学習や体験学習を増やしてほしい。また、中学校が行っている職場体験学習は素晴らしい取組なのでさらに活性化してほしい。

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(2) 出前授業について イ 外部講師を招いたがん教育について
質問内容	市内小中学校における外部講師を招いたがん教育の現状について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○文科省では、がんについての正しい理解とがん患者に対する正しい理解と、がん患者に対する正しい認識及び理解を深めるがん教育を進めるよう提言している。</p> <p>○市教委としても、がん教育の推進は、学校における健康教育の中でも重要な課題であると認識している。</p> <p>○小学校では、体育の保健領域において、喫煙の影響による肺がん等にかかりやすくなることを学習している。</p> <p>○中学校では、保健体育の保健領域において、肺がんに加えて、多量飲酒による食道がんになる危険性が高まることを学習している。</p> <p>○教員のみならず外部講師を招いたがん教育は有効であると捉えている。</p> <p>○平成28年5月に文科省の「外部講師を餅田がん教育ガイドライン」を市内小・中学校に通知し、外部講師を活用したがん教育の必要性を確認した。</p> <p>○小学校では、栄養士や薬剤師等を招いた健康教育が行われ、健康と命の大切さについて理解を深めている。</p> <p>○中学校では、「いのちの教育アドバイザー事業」を通して、医師による性教育を中心に命の大切さについて指導を行っている。</p> <p>○その中で、学校の要望により、がんについての講演を実施し、生徒の正しい理解につながったという報告もある。</p> <p>○市教委としては、がん教育の重要性を踏まえ、各学校におけるがんの予防知識の指導に加え、今後も医師会等との連携を密にしながら、児童生徒に対してがんに関する予防や健康診断等の正しい知識の普及を図るとともに、健康と命の大切さについて考える態度を育んでいきたい。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
--------	--

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<p>○青森県はがんによる死亡率がワーストである。</p> <p>○大阪府は、がんの死亡率8位であるが、医師を招いて若い頃からのがん予防教育を行っている。</p> <p>○ひとつの例として、八戸市立市民病院と連携も考えられる。</p>

質問者(議員名)	寺地 則行 議員
発言事項	2 観光行政について
発言の要旨	(1) 日本遺産認定について
質問内容	日本遺産認定に向けた取り組み状況と今後の方針について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○平成 27 年度から始まった日本遺産は、文化財を中心とした点在する地域資源を面的に活用しながら、地域活性化と観光振興を図ることを目的とした制度である。</p> <p>○平成 28 年度認定を目指し、八戸市と階上町で共同申請したストーリー「ヤマセと馬が生んだ風俗と景観」については、着目点は一定の評価を得たものの、認定していただけなかった。この結果を受け、現在、ストーリーの練り直し、それに即した地域資源の絞込み、わかり易い地域設定を慎重に行っているところで、より魅力のある八戸地域特有のストーリーを作成中である。</p> <p>○また、本制度の認定を受けるためには、地域活性化及び観光振興を目的とした具体的な地域活性化計画の立案が不可欠であり、それに基づく地域資源の戦略的な活用が必要である。</p> <p>○このような点を踏まえ、今後は、特に観光部署との連携を深め、関係自治体と十分な協議を重ねながら進捗を図り、平成 30 年度の認定を目指して取り組んでいく。</p>
担当課	社会教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	